

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2023年3月1日から2024年6月30日までの期間に、
膀胱留置カテーテル挿入されていた患者さんは以下をご覧ください。

【研究課題名】 膀胱留置カテーテル挿入患者の管理について

【研究期間】 2023年3月1日～2024年6月30日

【研究責任者】 福井赤十字病院 所属：感染管理室 氏名：田本聡子

【研究目的と意義】

膀胱留置カテーテル(以下カテーテルと呼びます)とは、「膀胱から尿を出すために、尿道を通して、膀胱に長期間入れておく管のこと」を指します。カテーテルは、何らかの理由で尿が出せなくなった時に留置されます。カテーテルが挿入されている場合、カテーテルによる感染が起きやすくなるため、感染対策として、日々の看護を正しく行う必要があります。

当院では、排尿ケアチームと協働し、不要なカテーテルの使用を避けるように活動を行っています。挿入中の管理として、尿がカテーテルの中で停滞しないようにクリップを使用し、カテーテルのたわみをなくすようにします。また、感染を起こさないためにもカテーテルをテープで固定することを、日々の看護で実施できるように病棟の看護師に教育をしています。カテーテルによる感染を起こさないためにも、日々の管理を正しく行うことを目的にします。

【研究の方法】

福井赤十字病院で2023年3月1日から2024年6月30日までの期間に、カテーテルが挿入されていた患者さんを対象とします。

研究の方法として、

- ①過去のカルテの情報から、カテーテルが挿入されていた期間、カテーテルが挿入された現認を確認します。
- ②患者さんの病室を訪問し、カテーテルの管理状況を確認し、尿を貯めている袋やカテーテルを固定している状態を、必要であれば写真撮影をすることがあります。

なお、写真撮影時には、患者さんの身体は写しません。新たに患者さんに検査や経済的負担をいただくことはございません。また研究実施計画書及び研究の方法に関する資料をご希望があれば閲覧することもできますので、お申し出ください。この研究は福井赤十字病院倫理委員会審査、病院長の許可を受けて実施するものです。

【個人情報の保護】

収集したデータは匿名化した上で保管します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「個人情報保護に関する法律」を遵守し、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、個人が特定されないよう、研究対象者に符号を付与します。対応表は本研究の研究責任者が個人情報を厳重に保護します。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされております。

しかし、ご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の担当医師までお知らせください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを忠実に特定できるデータを分からない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：田本聡子

（ 福井赤十字病院 感染管理室 ）

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133